

政策	II 夢のふくらむ港・環境にやさしい港	施策推進 責任者	港営部長・企画調整室長
施策	4 良好な港湾環境の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など	意図(どういった状態にしたいのか)	水域の適正な管理が行われ、港湾における環境負荷が低減するなど、自然環境、生活環境、地球環境などさまざまな面で環境を守り環境にやさしい港
	サービスの対象物(何を)	港湾のあらゆる機能への環境配慮や自然環境保全の取組		
展開①	水域の適正な管理		港湾における環境負荷の低減及び自然環境保全	長期的・安定的なしゅんせつ土砂処分場の確保
展開②	放置艇による問題を解決するため、関係機関や利用者との調整、係留保管場所の確保及び地域の実情に照らした規制によって、名古屋港の水域の適正な管理に取り組めます。		名古屋港管理組合業務や港湾物流における温室効果ガス排出量を削減するため、環境負荷の低減や自然環境保全に取り組むとともに、PR活動を実施します。	展開③ 港内で発生するしゅんせつ土砂の処分場の確保を進めるとともに、廃棄物処理に関わる埋立地の整備を引き続き進めます。

2. Do(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名 (担当課名)	指標名 【指標型】	27年度	28年度	29年度	目標値	29年度の 状況	29年度実施事業に基づく評価結果		29年度以降の方向性	事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等
			上段: 指標 目標値	中段: 指標 実績値	下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)			成果	コスト		

【展開①】水域の適正な管理

施04 事101	放置艇対策の推進 (プレジャーボート対策担当)	巡視及び行政指導を 行った回数 【単年度管理型】	24回 54回 76,183千円	36回 67回 22,306千円	36回 49回 68,468千円	36回	目標値 を上回る	継続	維持	維持	・放置等禁止区域の拡大指定に向けて放置艇等の移動・撤去を確実に進めていく必要があるため。
-------------	----------------------------	--------------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	-----	-------------	----	----	----	--

【展開②】港湾における環境負荷の低減及び自然環境保全

施04 事201	第3次名古屋港管理組合 地球温暖化対策実行計画の推進 (環境担当)	環境に配慮した取組の 達成状況 【進捗管理型】	15項目 12項目 4,460千円	18項目 11項目 4,480千円	28年度完了	18項目	目標値 を上回る	継続	維持	維持	
施04 事202	港湾環境啓発活動の推進 (環境担当)	パンフレット等の受取人数 【単年度管理型】	1,100人 645人 2,862千円	1,100人 1,056人 3,120千円	1,100人	1,100人	目標値 を上回る	継続	維持	維持	・環境啓発活動は、効果的な手法の検討を行いながら、継続的に取り組む必要があるため。
施04 事203	第4次名古屋港管理組合 地球温暖化対策実行計画の推進 (環境担当)	当該年度の削減目標を達成し た取組項目数 【単年度管理型】	- - -	- - -	7項目 6項目 6,433千円	7項目	目標値 をやや 下回る	継続	維持	維持	・第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガス排出量の削減に取り組む必要があるため。

【展開③】長期的・安定的なしゅんせつ土砂処分場の確保

施04 事301	稲永ふ頭廃棄物埋立護岸整備事業 (事業推進課)	事業進捗率(整備費換算) 【進捗管理型】				100%(累計) 26年度完了					
施04 事302	しゅんせつ土砂処分場の確保 (海域企画担当)	しゅんせつ土砂処分場計画 の策定までの状況 (全4工程) 【進捗管理型】	2工程 1工程 3,122千円	2工程 1工程 3,136千円	3工程 2工程 3,217千円	4工程(累計) 30年度	やや 遅れ	継続	拡大	拡大	・しゅんせつ土砂処分場確保に向けて、国等と協力しつつ、関係者と鋭意調整を図っていく必要があるため。 【重点化】
		施策コスト(合計)	86,627千円	33,042千円	74,545千円						

3. CHECK(成果目標の状況・29年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等	年度	27年度	28年度	29年度	目標値 [30年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
			(仮目標値)※	実績	実績	実績	
放置艇の隻数	隻		(982)	(948)	(914)	880	・放置艇の隻数については、放置等禁止区域の拡大、巡視・行政指導などを行うことにより、順調に減少しています。
名古屋港管理組合 温室効果ガス総排出量の削減率	%		-	-	9.2	10.4	・温室効果ガスについては、業務移管や施設の統廃合に加え、道路照明や設備機器等の更新などにより、基準年度(平成25年度)に比べて12.7%の削減となりました。
	%		-	-	12.7		

※ 仮目標値 = 初期値(25年度) +  $\frac{\text{目標値(30年度)} - \text{初期値(25年度)}}{5\text{年間(政策体系期間)}} \times 25\text{年度からの経過年数}$

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?) (見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)	適正・見直しが必要
--	-----------

4. ACTION(課題・30年度以降の取組方針)

29年度に取り組んだ内容	課題	30年度以降の取組方針
<p>展開①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員による放置等禁止区域の定期的な巡視を行いました。</li> <li>平成29年4月、美濃川地区全域に放置等禁止区域を拡大指定したことに伴い、指定区域内の放置艇等の所有者に対し、警告・勧告を実施したところ、所有者による移動、撤去は完了しました。また、所有不明の放置物件については、本組合により撤去、処分が完了しました。</li> <li>弥富ボートパークについては、事業化検証調査を行いました。</li> </ul>	<p>展開①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放置艇対策を推進するため、放置等禁止区域の拡大を検討する必要があります。</li> <li>弥富ボートパークの整備を進めるため、事業化検証調査で明らかになった駐車場確保等の課題について、引き続き関係者と調整する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放置艇の移転・収容のための受け皿となる新舞子ボートパークの空き状況を注視しながら、放置等禁止区域の拡大を検討していきます。</li> <li>事業化検証調査結果を踏まえ、弥富ボートパークの具体的な整備時期、規模等について調整を進めていきます。</li> </ul>
<p>展開②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境デーなどのイベントやみなと体験ツアーにおいて、積極的に啓発用パンフレットを配布するとともに、小学校への出前授業や生涯学習センターの講座などの環境学習に協力しました。</li> <li>7月に第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画を作成し、4半期毎に集計を行い、進捗管理を行いました。</li> </ul>	<p>展開②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋港の環境の取組について、更に多くの県民・市民に関心を持って頂くように広報に努め、環境イベントなどの集客方法を工夫していく必要があります。</li> <li>第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の目標達成に向け、引き続き、温室効果ガス総排出量の削減に取り組む必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾環境啓発活動の推進事業は、引き続き、環境イベントや出前講座等を通じ、より多くの方々に名古屋港の環境への取組を知っていただくよう努めていきます。</li> <li>名古屋港管理組合と指定管理者等が協力し、平成33年度を目標年度とする第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の目標達成に向けて取り組んでいきます。</li> </ul>
<p>展開③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国による漁業影響調査が取りまとめられ、環境影響評価法に基づく方法書の手続きが8月に完了しました。引き続き、国が進める環境影響評価準備書の作成に向け、関係機関と協力して調整を行いました。</li> </ul>	<p>展開③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>しゅんせつ土砂処分場確保には、さまざまな調整が必要なため、引き続き、国等と協力して取り組む必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しゅんせつ土砂処分場確保に向け、引き続き、環境影響評価準備書の作成等に協力するとともに、国等と連携して関係者の理解を得ていくなど、必要な調整や手続き等を行っていきます。</li> </ul>